

〈中学校 国語 解説〉

設問 1-1

1 解説

趣旨

相手や目的に応じて、通信手段を選ぶことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ア 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。

解答類型

問題番号		解答類型	正答
1-1	1	1 と解答しているもの	
	2	2 と解答しているもの	◎
	3	3 と解答しているもの	
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 相手や目的に応じて、通信手段を選ぶことができるようにする

〔知識及び技能〕の(1)「ア 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くこと。」は、現行の指導要領で新設された指導事項である。相手の行動を促す働きとは、聞き手（言葉の受け手）に働きかけ、行動するように促す働きのことである。言葉がもつ働きに改めて気付くことで、生徒は言葉を自覚的に用いることができるようになる。

指導に当たっては、「B書くこと」の(2)「イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。」等との関連を図ることが考えられる。相手や媒体を考慮して書くとは、自分の発信した情報がどう受け止められるかを想像したり、相手の状況や媒体の特性などを考慮したりして書くことである。

現代社会では、いろいろな通信手段が利用されている。学習指導に当たっては、それぞれの情報手段の特徴を踏まえ、相手や目的、状況に応じてふさわしい通信手段を選ぶことの必要性を理解できるようにすることが大切である。

設問 1 二

1 解説

趣旨

書く内容の中心が明確になるように、文章の構成や展開を考えて書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。

解答類型

問題番号		解答類型	正答
1	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 相手の都合のよい日時を尋ねる文を書いている。 ② 訪問可能な日時について以下のことを書いている。 a 平日 b 午後3時30分以降	
		(正答例) ・ 平日の午後3時30分以降で、ご都合のよい日がありましたら、教えていただけないでしょうか。 ・ 山口様の都合がよい日を教えてください。私たちは、平日の放課後、午後3時30分以降であれば大丈夫です。	
	1	条件①、条件② a、bの両方を満たして解答しているもの	◎
	2	条件①、条件② aを満たし、条件② bを満たさないで解答しているもの	
	3	条件①、条件② bを満たし、条件② aを満たさないで解答しているもの	
	4	条件② a、bの両方を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 書く内容の中心が明確になるように、文章の構成や展開を考えて書くことができるようにする

書く内容の中心が明確になるようにするには、内容の中心としたい事柄が際立つように構成や展

開を考える必要がある。また、段落の役割を踏まえ、書く内容の中心となる段落を文章全体のどこに位置付けることが適切であるか、その前後の段落にどのような内容を書くかなど、構成や展開を考えながら書くことが重要である。

日程調整等で相手の都合を確認する文章であれば、相手とのやりとりが最小限になるように、必要な情報を漏れなく書かなくてはならない。本問では、メール文の用件、書く内容の中心が「相手の都合の確認」であることを踏まえて、【話合いの一部】から必要な複数の情報を取り入れて書くことを求めている。通信文を書く指導に当たっては、相手意識を明確にし、要件が的確に伝わるように伝えたい内容を整理して書くことの意識付けが大切である。

設問 1 三

1 解説

趣旨

具体例を加えて自分の考えが伝わる文章になるように工夫して書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 三	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 【資料2】の内容をもとに、印象に残ったことについて、「特に印象に残ったことは、」に適切に続くように書いている。</p> <p>② 【資料2】の内容をもとに、田中さんが感じたことや考えたことを具体的に書いている。</p>	
	<p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (特に印象に残ったことは、) お客さんやお店の方々とたくさん話したことです。普段あまり交流のない地域の人たちと仲良くなり、自分もこの地域の一員なのだと実感することができました。 ・ (特に印象に残ったことは、) 私たちの作った「お店マップ」がお客さんに好評だったことです。それぞれの店のよいところ取材してまとめるのは大変でしたが、みんなで協力し、工夫したことが認められて、嬉しかったです。 	

	1	条件①、②を満たして解答しているもの	◎
	2	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (例) ・ (特に印象に残ったことは、) 「お店マップ」を商店街の入口で配ったことです。それぞれのお店のよいところを取材してまとめたので、分かりやすいとお客さんに好評でした。	
	3	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの (例) ・ (特に印象に残ったことは、) 準備は大変だったけれど、達成感があったことです。 ・ (特に印象に残ったことは、) 会長の山口さんが、若い世代が地域の行事に関心をもつことが大切だと話しておられました。私も忙しくて地域のことに目を向けることができていなかったと感じました。	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 自分の考えが伝わる文章になるように、具体例を加えるなどの工夫をして書くことができるようにする

説明や具体例を加えるとは、説得力を増すために、考えや意見の根拠となることを具体的に記述することである。具体例を加える、表現の効果を考えて描写するなどの工夫を積み重ねて、自分の考えがよりよく伝わるようにすることが重要である。

解答類型2は、印象に残ったことについて事実を書いているが、田中さんが感じたことや考えたことを書いていない。解答類型3は、感じたことや考えたことを書いているが、何によってそのように感じたり考えたりしたのか、根拠となる事実を書いていない。また、「特に印象に残ったことは、」に呼応した適切な文末表現をしていない解答も含まれる。

学習指導に当たっては、文章の説得力を増すために、根拠の適切さを検討する視点をもたせ、どのような説明や具体例を加えると根拠の記述が具体的にbecomeかを考える場面を設定することが考えられる。本問の礼状を書く活動では、伝えたいことが「感謝の気持ちと学習発表会の案内」であることを明確にした上で、具体的な表現の工夫を意識させることが大切である。推敲の段階等に、気持ちの伝わる具体的な表現があるものとないものを読み比べることで、自分の気持ちや考えの伝わり方の違いを実感させることも効果的である。

設問 1 四

1 解説

趣旨

敬語を適切に用いることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

カ 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。

解答類型

問題番号		解答類型	正答
1 四	1	「いらっしゃる」「おいでになる」「お越しになる」「来られる」等	◎
	2	「お越しになられる」等（二重敬語）	
	3	「伺う」「参られる」等（謙譲語または謙譲語の誤用表現）	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 文章の中で敬語を適切に用いることができるようにする

中学校においては、敬語に関する個々の体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語のもつ働きを理解する必要がある。

生徒は、実生活の中で敬語表現の使い方を学ぶと同時に、尊敬語と謙譲語の誤用、二重敬語等、間違った敬語表現に触れる場面もあると考えられる。学習指導に当たっては、基本となる尊敬語、謙譲語、丁寧語について理解すること、相手や場面に応じて適切に使うことができるようにすることが重要である。学習したことを繰り返し用いたり、生活場面において使う機会を多くもったりすることにより、確実に身に付けることができる。他教科等の学習や教育活動全体の中で、手紙や電子メールを書く活動、インタビューをする活動等との関連を図り、指導の効果を高めることが考えられる。